

## 2022年度 児童・少年の健全育成実践的研究助成の選考を終えて

児童・少年の健全育成助成選考委員会 委員長 松見淳子

日本生命財団 創立40周年記念特別事業の一環として、2020年度よりスタートいたしました児童・少年の健全育成実践的研究助成は、本年度、3回目の選考を終えることができました。

当助成は、「子どもを巡る『真のウェルビーイング』の探求」をテーマとし、研究者と実践家が、現場での実践をもとに協働して研究を進める「実践的研究」に対する助成制度となっております。

募集に際しては、**2つの重点助成分野【第1分野；教育、予防的対処等を図る分野、第2分野；療育的対処等を要する分野】**を掲げ、また、多くの研究者や実践家が応募できるよう各重点助成分野に関連するキーワード・キーフレーズを明瞭に示すとともに、**2年助成と1年助成の2つのプログラム**を設定しています。

### 1. 応募状況

全国から2年助成30件、1年助成32件、合計62件の応募がありました。

	応募件数	内、第1分野	内、第2分野
2年助成	30	18	12
1年助成	32	19	13
合計	62	37	25

分野別では、教育、予防的対処等を図る第1分野が約6割、療育的対処等を要する第2分野が約4割でした。

申請者についてみると、教育、保育、医学、看護、心理の分野の他に農学、外国語大学の研究者、社会福祉施設等に勤務する専門職と様々な分野の研究者、実践家にわたっております。また1年研究は、大学院博士課程在籍者も助成対象としており、7名の申請がありました。

## 2. 選考結果

選考委員会では、個々の申請について、研究の意義、研究デザインの妥当性、社会への貢献等から選考を行い、2年助成が4件、1年助成が7件、合計11件が新たに選出されました。分野別では、第1分野が6件、第2分野が5件となっております。

	採択件数	内、第1分野	内、第2分野
2年助成	4	2	2
1年助成	7	4	3
合計	11	6	5

採択となった研究は、第1分野では、学校教育現場におけるストレスマネジメント教育の実装を目指すものや、アニメ動画を活用した小学生向けの主権者教育の実践とその効果検証、第2分野では、非行少年に対する地域定着支援体制モデル構築を目指す等、どれも課題性の高いテーマです。

1年助成については、1名の大学院博士課程在籍者が採択され、今後の活躍が期待されるところです。また、2年研究については、当財団の別途助成（出版助成）により書籍出版へとつながることを大いに期待しています。